



text_douki

都市への思い新たに Urban Reaction by New Comers

—研究室に新メンバー！—
—Doctor & Master Students—

この秋から都市デザイン研究室に新しいメンバーが加わりました。修士課程2名と博士課程4名、社会人大学院都市持続再生学コース2名の方に自己紹介を頂きました。

修士課程 / master course

渋谷政秀
Shibuya Masahide



M1

- ①千葉県松戸市
- ②まちあるき、都内をよく歩いています
- ③東京・トルコ
- ④「根性」に逃げない
- ⑤研究室プロジェクトに惹かれて
- ⑥着実にいきたいと思います

修士課程 / master course

イミンジュ
Lee min ju



M1

- ①韓国
- ②コーヒー
- ③ソレ村、ソウル
- ④今を生きる
- ⑤ネットから調べ。。。
- ⑥ハハハ、頑張ります。

博士課程 / doctor course

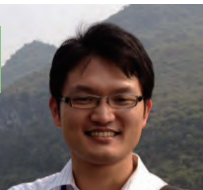
永井ふみ (旧姓：藤本)
Nagai Fumi



- ①姫路市 ②絵を描くこと・facilitation graphics
- ③ふるさと姫路、卒論でお世話になった鞆の浦、新婚旅行で行ったローマ・イタリア
- ④感謝・努力 ⑤高校時代、実家の前に広がる大好きな田園風景をどうやったら守れるのだろうかと思ったので
- ⑥同じくピカピカの一年生の息子に負けたくない、日々新しいことを吸収し研鑽します！

博士課程 / doctor course

西川亮
Nishikawa Ryo



D1

- ①東京
- ②料理・グリーンミュージー
- ③那覇市・農連市場・行けるものなら江戸の都
- ④地域に学ぶ
- ⑤今さら書くこともないでしょう (笑)
- ⑥自分の人生にとっての挑戦です

博士課程 / doctor course

徐妍
Xu Yan



D1

- ① Benxi City, Liaoning Province, PR.China
- ② Swimming, hiking, computer games~~
- ③ Tokyo, Sicily
- ④ Stay or leave, flowers bloom and fade at vestibule; honor or shame, cloud fold and stretch in the sky.
- ⑤ Lecture by Prof. Nishimura in Beijing, 2011, attracted me a lot
- ⑥ Stimulate cultural heritage units for the active role of modern life

博士課程 / doctor course

ナティア・アブドゥル・ワヒド
Nadia Abdul Wahid



- ① Selangor, Malaysia
- ② Listening to music, reading and people watching & flexibility and able to work under pressure
- ③ Those have beautiful pedestrian streets for evening strolls & Kyoto, Osaka and each capital city of the Europe
- ④ I can do this!!
- ⑤ That I will be someone who can contribute to the society through Urban Design via the available means be it through the tertiary education system or the practicing field
- ⑥ The continuous support from my family and beloved ones. Also from the encouragement from Idid Sensei, friends and colleagues. Not forgetting beautiful cities and projects that never stop to inspire me

修士課程 / master course

深谷信介
Fukaya Shinsuke



M2

- ①石川県金沢
- ②ゴルフ・音楽 (ベース弾きます)
- ③フィレンツェ、金沢、広尾、パリ、ツエルマット・まだ知らない素敵なところ (教えてください！)
- ④やってみる
- ⑤西村先生・窪田先生の講義を聴いて・ネーミング、ブランドと都市のユニークなかけ算をしてみたい
- ⑥う〜〜〜ん

修士課程 / master course

森田暁
Morita Akira



M2

- ①東京都荒川区日暮里町
- ②まちあるき、古本収集・中高大 (駒場) 時代にはフェンシング
- ③ハーレム市 (オランダ)・谷中 (上野桜木・根津・千駄木・日暮里を含む)
- ④パンタ・レイ / 行雲流水 (亡父の墓碑銘)
- ⑤1974年の一夏、西独・オーストリア国境の町バツァウで過ごしたこと
- ⑥物流システムの変容が都市空間にいかなる変化をもたらすかを史的に解明したい

博士課程 / doctor course

渡辺秀樹
Watanabe Hideki



博士課程 / doctor course
齋藤勇
Saito Isamu

先学期に都市デザイン研究室でまち大修士を修了された渡辺さんと住宅・都市解析研究室でまち大修士を修了された齋藤さんは博士課程に進学されます。

①出身地 / hometown ②趣味・特技 / hobby & speciality ③好きなまち・行ってみたいまち / favorite cities & cities you want to go ④座右の銘 / motto
⑤都市デザイン研究室に来たきっかけ / the opportunity that you selected this lab ⑥研究室生活に向けての意気込み / the will for study

新歓パーティー開催！ The Welcome Party for New Students was Held!

text_douki

10月23日(水) 弥生キャンパスのアブルポアにて10月から研究室の仲間となった皆さんをお迎えする新歓パーティーが開催されました。ご多忙の中、先生方やまち大の方々も参加して下さり貴重な交流の機会となったと思います。新入生の自己紹介タイムでは個性豊かなお話や熱い意気込みをお聞きすることができ、先生方からも熱いお言葉をいただいて、新入生だけでなく在校生も気持ちが引き締まったのではないかと思います。窪田先生がおっしゃっていたように12月の忘年会では学生、社会人の分け隔てなく色んな話が飛び交うことを期待しています。



▲集合写真撮影時の1コマ



清水を市民の手に Shimizu by the People

—「清水みなと散歩」開催— -Walk Event was Held in Shimizu-

清水港周辺を巡ってみなとの魅力を再発見することのできるイベントを行った清水PJ。昨年よりも多くの清水関係者が準備段階から加わり、より清水の人々によるイベントへと近づきました。

text_douki

10月20日(日)清水港周辺を巡るイベント「清水みなと散歩」を開催しました。「清水みなと散歩」は、昨年も行われたミナトブンカサイや清水港線跡自転車歩行者道でのイベント、日本丸一般公開などを巡り、みなと全体の回遊性向上につなげると共に、みなとの魅力を市民に発信することを目的としたイベントでした。当日はあいにくの天気で来場者も少なく、途中で中止となってしまいました。しかし、清水の市民グループや大学関係者などを招いて開かれたパネルディスカッション「みなとトーク!」では「清水の未来を考える」というテーマのもと三保の松原と日の出地区との広域的な視点でのまちづくりの必要性などが議論され、観客として出席していた清水に関わる方々(役所やNPO、地元事業者、大学関係者、高校生など)も議論に巻き込んで、予定時間1時間30分のところ3時間を越える熱いパネルディスカッションとなりました。

このパネルディスカッションだけでなく、清水みなと散歩開催に向けた準備の過程では、清水に関わる多くの人とつながりを持つことができ、またそうしてつながった方々と協力し、何度も助けていただいてイベントを開催することができました。こうした点で、今年度の目標であった「(清水を愛し、行動を起こすことのできる)清水のサポーターを増やす」への大きな一歩を踏み出すことができたのではないかと感じました。



▲清水ゆかりの品を販売する「ミナトカフェ」



▲非常に盛り上がった「みなとトーク!」



▲スタンプラリー台紙

▲清水みなと散歩チラシ

建築夜楽校 2013 展示報告

Exhibition Report of AIJ

窪田先生と中島先生が建築学会による「建築夜楽校 2013」の展示会に研究室の代表として出展されました。

中島 伸 助教



▲展示された作品

10月2日(水)から14日(月)まで建築会館にて、建築夜楽校 2013「アーキテクト and / vs アーバニスト」展に研究室で参加しました。「都市デザイン研究室の行動と思考」と題して、2000年前後から本格的に発展展開する研究室のプロジェクト群を概観しつつ、神楽坂プロジェクトを題材にそこから導かれる都市デザイン研究室のプロジェクトにおける理論について考える試みでした。神楽坂プロジェクトは2000年から始まり、様々な活動や主体との連携を通じて現在に至っており、そこから導かれた行動と思考を大パネルで展示しました。今後も「研究室の行動と思考」は議論を継続してまとめたいと考えています。松田助教の建築プロジェクトや慶應義塾大中島先生、工学院大遠藤先生の展示等もあり、研究室OBも含めた多様な視点から盛りだくさんの展示でした。

Information

10月・11月の予定

10月30日	第7回研究会議
11月1日~3日	12th International Congress of Asian Planning School Association (APSA) @国立台湾大学
11月2日~3日	佐原WS
11月9日~10日	都市計画学会大会学術研究論文発表会
11月15日~25日	ルンビニPJ現地調査

✧ 編集後記

道喜 開視

「時間は戦って作るもの。」この言葉は、もうみなさん何度も聞いている言葉かと思います。私が初めてこの言葉を目にしたのは、確か今年の春に研究室マガジンのバックナンバーファイルをばらばらとめくっている時でした。その頃はまだこの言葉の意味にいまいち共感できていませんでしたが、先日の新歓パーティで再びこの言葉をお聞きして少なからず自分の心持ちが変化していることに気づきました。この変化がこの半年の充実を物語っていると信じたいものです。